

常磐高等学校 平成26年度 学校重点目標並びに自己評価表

(計画段階 ・ **実施段階**)

学 校 運 営 計 画				評価(3月)			
学校運営方針	本校では、知育、徳育、体育の三位一体を基盤として、至誠の心を育み、自由清新な気風で、心豊かな行動力のある社会有為の人材を養成する。			B			
昨年度の成果と課題	本 年 度 重 点 目 標	具 体 的 目 標					
生徒指導を基盤に教科指導と進路指導を実践する学校改革が様々な面で推進され、活力ある学校づくりにつながった。その中で、挨拶や清掃等が自主的にできる自立心を高める生徒指導を推進する。また、家庭学習指導を徹底して、意欲的に授業へ参加するような魅力的な授業を実践する。さらに、確固たる学力をつけさせて、安易な進路決定に満足させず、最後まであきらめない粘り強い進路指導を図ることが課題である。	基本的生活習慣を確立させ、「思いやりの心」を持つ生徒を育てる。	時間厳守・挨拶励行・整理整頓を推進するとともに、規範意識の高揚を図る。					
		各種行事の充実を図り、全生徒の連帯感を高める。					
	授業改善により生徒の学習意識を向上させ、基礎学力の充実に努める。	教育内容を研究し、生徒が「意欲的に参加する授業」を展開する。					
		予習・授業・復習の学習サイクルを確立させる。					
計画的・組織的な進路指導を実践し、希望進路の実現に努める。	生徒個々の実態把握と適切な進路指導を実践する。						
	1ランク上の進路目標を設定し、実現に努める。						
安全で快適な学習環境の整備し、心身ともに健全な生徒を育てる。	教育活動全体を通して心身の健康を保持するとともに推進を図る。						
	自主的な清掃活動によって清潔な学習環境を保持する。						
評価項目	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策		評価(3月)		次年度の主な課題	
学習指導	教科指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業改善シート」を導入して、参観授業や研究授業の効果を向上させる。 ・校内外の研修会に積極的に参加して、生徒が「意欲的になる授業」を展開する。 		C	B	「授業シート」の活用が一部教員に止まったので教員全体に拡充する。「授業満足度」は88.3%、次年度の向上に努めるとともに授業に興味と関心を持たせるための予習励行や授業改善の取り組みが必要である。	
	学習意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・生活実態アンケート調査を実施して、「授業満足度」100%を目指す。 ・生徒の予復習を点検して、規律ある授業と連動した「学習サイクル」を確立させる。 		C			B
進路指導	進路学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路マニュアル」を有効に活用して、生徒一人ひとりにきめ細かい進路指導を実践する。 ・各種資格、検定の上級取得を目指す。日本情報処理検定協会会長賞受賞数の県内1位を継続する。 		B	A		AO・推薦入試からセンター・二次私大入試まで担任と進路指導部や教科担当が組織的に取り組んだが、目標まで届かなかった。組織的対応の強化が必要である。情報検定試験では更に上級資格と国家資格を目指す指導をする。
	希望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・難関国立10大学を含む国立大学20人、西南大10人、福岡大20人以上合格させる。 ・大学センター試験で各教科・科目の校内平均点が全国平均点を上回るようにする。 		A			
生徒指導	規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車運転や携帯電話使用などのマナー指導を徹底して、登下校時のモラルを向上させる。 ・薬物乱用防止や非行防止等の「保健講話」を実施して、健康教育の充実を図る。 		B	B	登下校指導と校外清掃活動を改善して地域からの信頼が向上した。現行の指導と活動を継続する。部活入部率は59.9%。生徒会を中心の「美化コンクール」は継続的に実施できた。「挨拶運動」も同様に取り組む。	
	生徒会活動の活性	<ul style="list-style-type: none"> ・70%以上の校友会入部率目指し、それぞれの部活で全国大会、九州大会出場を目指す。 ・生徒会を主体とした挨拶運動を展開するとともに、「美化コンクール」を充実させる。 		A			
その他	人権・同和教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の特設授業の充実を図るとともに、全教育活動を通じた人権教育を一層充実させる。 ・「教育相談」によるカウンセリングを充実させ、進路変更生徒の減少に努める。 		B	B		人権教育特設授業を充実させて、「他人への思いやりの心」をしっかりと持たせる教育を実践する。進路変更生徒への対応を組織的にすすめる。積極的な広報活動を継続して目標を達成する。
	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を積極的に行ない、随時「ホームページ」の更新を実施して、広く情報を発信する。 ・推薦入試受験生100名、一般入試受験生1300名、入学者280名を目指す。 		A			